

平成22年度 盛岡大学附属高校 学校自己評価及び学校関係者評価書

1. 今年度の重点目標・具体的な取り組み

学校経営方針	キリスト教主義に基づいて教育を行い、愛と奉仕の精神を体した人格を形成する。
本年度学校重点目標	1)地域から信頼される学校経営と盛岡大学との高大連携の強化に努め、入学者の定員を確保する。 2)校舎の耐震診断の結果にもとづく校舎改築を計画に従い完了する。
本年度の具体的な取り組み	1)受験者数・入学者数を増やす。 2)耐震補強及び改修工事計画を実施する。 3)学力向上に努める。 4)規律ある学校生活を実現する。 5)安定した進路実績を実現する。 6)地域に信頼される開かれた学校づくりに取り組む。

本年度の学校自己評価の結果

	重点目標	具体的方策	自己評価		学校関係者評価	
			達成状況	改善の方策	自己評価の適切さ	改善策の適切さ
学校経営	受験者・入学者数を増やす	推薦・自己推薦105名、一般受験者500名を確保する。	B	更なる教育活動の充実を図りたい。	A	A
		実態に即したコースの在り方を検討する。	A	引き続き検討していきたい。	A	A
学校関係者評価者による意見		次につながる教育の内容が大切である。高大連携の強みをもっとPRL、メリットを強調しながら、学校経営の安定を進めて欲しい。				
総務・渉外	活力あるPTA活動の実施とともに、学習活動の安全確保に努める。	PTA会報を年3回発行する。7月、10月、2月	A	PTA活動を通して学校教育への参加意識を高めたい。	A	A
		学校安全と授業への影響を考え、学校訪問者の時間、場所等を検討する。	B	特別教室等、使用教室の把握を徹底したい。	A	A
学校関係者評価者による意見		本校では訓練等も実施しているし、Aでも良いと思う。				
学習指導	自ら学ぶ意欲を育て学習する習慣を身につけさせる。	全教科の年間標準授業時間数の確保をめざす。	A	時間数は予定通りであった。家庭学習をさらに充実させていき	A	A
		各定期考査前に補習を実施する。	B	成績不振者に対するケアを継続していきたい。	A	B
	教員の学力向上を図り、生徒の学力向上に努める。	全教科の公開授業週間を実施する。	B	少なくとも、教科の先生が参観できるよう配慮したい。	A	A
		校内研修会の充実と校外研修の積極的参加に努める。	A	中央の研修会に出来る範囲で参加させたい。	A	A
学校関係者評価者による意見		研修の場所、相手も考えなければならない。生徒とともに教師も学びあうことが大切である。教育の質を保証していくため、今後も、引き続き取り組んでもらいたい。				
生徒指導	生徒指導上の問題行動を一層減らす努力をする。	生徒1人ひとりの「チェックシート」を利用し、遅刻を減少させる。	B	遅刻指導について、保護者にも事前に知らせておきたい。	A	A
		頭髪・服装についてのマナーアップ運動を定期的実施する。	A	校外指導に力を入れていきたい。	A	A
		部活動参加率を男子80%、女子65%以上に高める。	A	退部者を減らして、参加率を上げていきたい。	A	A

学校関係者評価者による意見		遅刻指導は社会に出たときに大切なので、実施したほうがいい。服装等は、高校生にとって、厳しすぎるような気がするが、引き続き保護者と意見交換しながら取り組んでほしい。				
保健・ 教育相談	心身の健康に問題を持つ生徒の早期発見に努め、関係職員・保護者・支援機関との連携を密にして、支援活動の推進に努める。	保健室利用の生徒に対して生活チェックを行い、具体的な指導をする。	A	根気強く指導していきたい。	A	A
		心に問題があると思われる生徒については、保健室とサポート室が連携し、身近な助言者としての相談活動を目指し、関係機関と連携する体制をつくる。	A	問題点を整理し、体制作りを検討したい。	A	A
		月1回の保健相談課の会議を開き、生徒理解と支援方針を確認する。	B	会議の時間を確保したい。	A	A
学校関係者評価者による意見		心のケアが重要になってきており、外部の有識者の意見やカウンセラーの導入も含め、取り組んでほしい。				
進路指導	生徒の将来を見据えた指導をし、希望に沿った進路実績を実現する。	盛岡大学・同短期大学部へ47名枠の進学者を目指す。	B	粘り強い指導をしていきたい。	A	A
		学習の根本である読み書き能力向上のため、それに対応した朝自習を、一年間継続する。	A	更に発展させ、より高い読み書き能力を育てたい。	A	A
		特進コースは第一希望に全員合格、進学コースは国公立合格の増加を目指す。	B	1年生からの取り組みを検討したい。	A	A
学校関係者評価者による意見		補習等の指導をしっかりともらいたい。社説を読ませる等の朝自習は、担当の先生の努力に敬意を表したい。				
家庭・地域との連携	地域に信頼される開かれた学校づくりに取り組む。	地域活動やボランティア活動に生徒を参加させ、地域との交流を図る。	A	地域の雪かきも検討したい。	A	A
		学年通信、学級通信、校長通信を年6回以上発行する	B	通信の発行回数を増やしたい。	A	A
		学校の各種情報を保護者や地域住民に発信する。	A	イベント毎の地域への発信を検討したい。	A	A
学校関係者評価者による意見		情報発信については、内容の見直し、あるいは、生徒も関わるような、発信も必要ではないだろうか。				
学校独自の活動	耐震補強及び改修工事計画を実施する。	生徒等の安全確保に留意し工事を進める。	A	工事関係者との細部にわたる打合せが大切。	A	A
		工事と授業等の教育活動が両立可能な計画を実施する。	A	計画が非常に大切であった。	A	A
学校関係者評価者による意見		優先的に耐震を行って頂き、安心して過ごせる環境になり大変感謝している。				

※達成状況は教職員による学校評価アンケートや保護者・生徒のアンケート、1年間の業務遂行状況を勘案し校長がA～Dの評価をしたものである。(A 適切である B おおむね適切である C あまり適切ではない D 全く適切ではない)

※学校関係者評価は自己評価の適切さと改善策の適切さについてAからDの評価をしたものである。(A 目標を十分達成している B 目標を達成しているが改善の余地がある C 目標を達成するには幾つかの課題がある D 課題が多く改善が必要)